

～ All for one, One for all. ～

# 光の家

LIGHT HOUSE WITH THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設

東京光の家会報

— 148号 —

2008年7月28日発行

求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

マタイによる福音書

第七章 七節～八節



スポーツする喜びを身体いっぱい感じて！

巻頭言

## 宇宙法則の大道は、愛なり

～愛なくしてすべては空しく真の福祉の

源泉は他者への愛と仕える心なり～

社会福祉法人東京光の家

理事長

田中亮治

## 暑中お見舞い 申し上げます。



(1)

太陽は、善人にも悪人にも、高齢者にも幼児にも等しく慈愛の光をもって、命を育み給う。空気も万人に等しく供給され、万人を生かし給う。風も嵐も雨も、人を差別し区別することなどない。これが宇宙運行の大道であり、宇宙法則の原則であり給う。実は、ここに宇宙の愛があると言える。私も人間は、一人の例外もなくこの宇宙大道の愛に包まれ、宇宙に充滿する愛なる霊に守られて生の営みを維持できているのではないだろうか。

私が如き小なる人間ではあるが、永年に亘って、厳しい重い障害を背負いながらも、一日一日をかけたえの無い時間として懸命に生き、作業訓練や歩行訓練、点字学習や様々な生活訓練、文化活動等に励んでいる人たち

と一緒に生活していると、人間というものの存在を遙かに超えたある偉大なる力があり、この宇宙の変わらぬ「愛の大道」に支えられ守られて生きているのだという事を日毎日毎に強く感じられてならないのである。

(2)

ところで、このような会報にいきなり大口をたたきような事を書いたようでお許し頂き度い。そこで、まずもってお断りさせて頂くが、私は宇宙万物の創造主である神を信じる者であるが、かと言って別に宗教家と称する者ではない。又、人様を道に説く道徳家でも説教者でもない。ただ、永年社会福祉施設の現場で働かせて頂いている平凡なる一介の社会福祉事業従事者に過ぎない人間である。

り、生活を少しなりとも改善するべく神経をすりへらしているしがない人間である。それこそ明けても暮れても施設利用者の安全を平安な生活が守られるよう神に祈るしか能のない人間である。

こんな者ではあるが、何とか自分の一生をたといほんの僅かでも、神と人とのお役に立つために身を捧げたく念じ、それなりの努力をしてきたつもりである。ただ、残念ながら、実際の生活はとて「俯仰天地に恥じず」どころか、それとはあまりにもかけ離れたものである。それ故に、その事をいつも反省して、自らを叱咤激励しながら、立場上自分に課せられている社会的責任を力の能う限りに遂行し、責任を果したく念じている次第である。

(3)

但し、昨今の社会の状況悪化に、一市民としてじっとしておれない気持ちになっているのも事実である。虚偽・偽装事

件・殺人事件・贈収賄事件・詐欺事件等の多発。小中校生のいじめ事件等々挙げればきりが無いが、世の中がどうかなたたうで、これでは国が減ぶのではないかと、まことに憂慮すべき状態である。勿論、私自身エラソウに物を言える人間ではないが、それでも、今の社会を見て感じる事は、「愛なる宇宙の大道」によって守られている事への感謝を忘れ、その愛の法則に逆らっているのではなからうかと。

自分さえ良ければよい、自分たちの利益のためには、他者への愛や思いやりなど捨てて顧みず、平気で他者を踏みつける、まさに「愛」を失ってしまったように思えてならない。こんな事では、社会の秩序ある平和と一人ひとりの幸せなど到底実現できないのではないだろうか。しかし、何と言っても大切なのは社会の指導者層の在り方ではないかと思う。失礼な事を申し上げたが、ご教示頂けますれば幸甚である。

## 会報 五言

一、善き伝統も善き制度もこれを創りあげるには多くの汗と涙と祈りを要す。

一、何らかの犠牲なくして善き伝統も善き制度もあり得ず、これ歴史の教訓なり。

一、机上の作文と権力者の号令だけで人は動かず、かつ救われず、これ又歴史の教訓なり。

一、書齋の中の論文のみで貧しき者、悩める者の魂を励まし救うこと能はず。

一、社会のしくみであれ、制度であれ、人の知のみでは善きものは為し得ず。指導者層の愛心と他者に尽くす犠牲心なくして善き社会は決してあり得ず。これ、歴史の現実なり。

# 東京光の家に永遠の栄光を。

東京光の家 評議員 遠藤 文子



「す」との事。私は「キリスト教徒ではありませんが」と恐縮すると、「信仰は形ではありません。誠実に働けばそれで良い」とのお言葉で嬉しかったことを覚えて居ります。

昭和四七年八月、新聞紙上で東京光の家職員募集の文字に心を引かれ面接に行きましたが、故秋元先生は無口で、私は身の置き所のない雰囲気困惑し来る所ではなかったと些か後悔して居りました。そこへ田中理事長が、ゆつたりとした足取りで入室され、「何才ですか」と問われやっと我に返って「もう四一才になりました。」と答えました。「まだ若いですが、これからですよ」のお言葉に何とやさしい方だろうと、ほっと致しました。更に「東京光の家は聖書の信仰精神を大切にしていま

づいた講話を書きとめて読み返しました。現在も迷いの生じた時など、そのノートを読みかえして人生の糧とさせて頂いて居ります。

東京光の家は、灯だけの光ではなくて、聖書を通して真理の光を与え続ける施設である事。組合活動の激しい中での講話では、「善を行う事に疲れてはいけない、時が来れば自分の蒔いた物は刈り取る事になるから。」

又、私の心が高ぶった時、「人には諸々生き方があるが、進歩するには聖書から学び、何が真理であるか知り、神のみにかなう生涯が最高の人生」と教えられました。退職して二〇年の現在も貴重なノートです。

退職後、ある組織にかかわり家事援助サービス事業を始めに当り、それに携わるスタッフの教育に、田中理事長の講演をお願い致しました。御多忙なお立場にもかかわらず引き受けて頂き、その結果として一〇年

を経た現在も、初回契約者の方から会う度に感謝の言葉を頂いて居ります。実践には、知識や技術は勿論必要で大切な事ですが、基本理念がいかにそれらを確実なものにするかを再確認出来ました。

東京光の家は、田中理事長のもとで創立者の精神を尊重し聖書を神の言葉と信じて、利用者も職員も共に感謝と喜びのうちに生まれかわる事が出来ます。

地域交流センター、機能訓練室、自立支援センターの完成等社会情勢や法的位置づけにも即応されて、その利用者も目覚しい状況であります。

東京光の家が、今迄も、今日も、そしていついつまでも、聖書の神様の栄光のために働らく場としての施設であり続けますようにと心から祈ります。



## 皆さん、運動好きですか？



「運動」という言葉を聞くと「きつい」「つらい」と言ったイメージを持つ方が多いようです。皆さんはどのようなイメージをお持ちですか。光の家新生園では開設から盲重複障害者の方々への支援内容に「運動」を取り入れてきました。



フロアバレーで、スパイク！ ブロック！

盲重複障害者の方々は視覚からの情報が制限される為、模様による運動動作の習得ができません。そのため、「走る・投げる・跳ぶ」といった基本的な運動が上手く行なえず結果、運動経験が少ないという状況にあります。

そのような方が多い中で新生園では体育訓練として、走・投運動や速歩き、バランス運動などの基本的な動作を身に付ける訓練をはじめ、エアロビクス、プール内運動、フロアバレーボールなど様々な種類の運動を提供しています。盲重複障害の方にとって反復訓練は欠かせない為、正しい動作が覚えられるよう職員が一つひとつ手を添えながら指導しています。中には運動に対してモチベーションが

上がらないという園生もいますが、音楽やレクリエーション的な内容を導入して、少しずつ前向きに取り組めるように支援しています。その甲斐あってか、「新生園に入所して運動が好きになった。」という園生も多くなります。運動することが楽しい、大好き。その気持ちはとても大切で、肥満解消や健康維持に役かっているように思います。

先日、東京都障害者スポーツ大会が行われ、新生園からも多くの

の園生が参加しました。当日は日ごろの訓練の成果が発揮され、見事多くのメダルを獲得することができました。練習の積み重ねが一つの成果となる。園生にとって達成感を感じることができた良い機会となりました。これからも様々な運動を通して運動することの楽しさを教え、結果健康の増進につなげて行けるよう支援していきたいと思えます。

## 身体障害者授産施設 光の家栄光園 運動不足解消をめざして



栄光園における利用者の健康に関する問題ー問食、肥満、生活習慣病他ーは職員として長年、悩みの種でありました。授産作業が日課の中心にあるため、運動不足は歴然としていました。そこで、利用者の運動不足を解消するために、昨年度より徐々に運動プログラムを増や

してきました。今年度からは、発展的に全員（高齢者除く）を対象に週一回、「運動の日」という時間を作り、一時間という短い間ですが、四つのプログラムに分かれて活動をしています。昨年度から継続しての「簡単ダイエット」です。毎月体重を計



継続は力なり、運動不足解消!

測し、利用者自身が自分の具体的な数値が分かることよって運動に対する意識を高めています。このグループのみ一年間同じ利用者が行っています。二つ目が、「ストレッチ」です。その名の通りストレッチやヨガ、体操などを主に行っています。三つ目が「ミニスポーツ」です。利用者が出来るスポーツや七月には盆踊りなど季節に合わせた内容を行っています。四つ目が「ウォーキング」です。施設周

辺を歩き、雨天時も施設内を歩いています。利用者が継続して楽しみながら行えるようにそれぞれのグループで、内容を考えながら行っています。

このようなプログラムを通して、徐々に利用者へ運動への意識が高まりつつあります。余暇の時間にエアロバイク等を率先して行っている姿を見かけます。その結果として、体重が減少してきている人も始めてきました。また、その成果が一番実感できたのが、今年度の東京都障害者スポーツ大会です。毎日作業後三〇分という短い練習だけでしたが、継続的な運動により、基礎体力が付き、金メダルの数が二三個と昨年度より多く獲得することが出来ました。これからも、授産活動との両立を図りながら、運動する機会を増やしていきたいと思えます。

(栄光園授産課 萩原 有記)



## 救護施設 光の家神愛園

### 喜びを分かち合って



去る六月七日、駒沢競技場にて毎年行われている『東京障害者スポーツ大会』に、神愛園から四名が参加しました。以前は神愛園でも、もつと沢山の方が参加されていたのですが、駒沢の体育館で行われていたレクリエーションが行われなくなつたことや、障害の重度化、高齢化による機能低下により、競技に参加する事が難しくなつてしまつたのが現状です。数少ない参加者にはなりませんが、大会の練習をしている際には、毎回居室のベランダから「頑張れ〜!」と声援を送つて下さる方もおり、とても励まされました。皆の期待を受け、本番当日はやや緊張気味の出発でしたが、練習通りに落ち着いて楽しむもう!」と話しました。その結果、一〇〇m、二〇〇mそれぞれで二つのメダルを獲得した方、ソフトボール投げで昨年度の銀メダルから金メダルへステップアップされた方、五〇m音源走で「今までの人生で初めて!」というメダルを獲得された方、それぞれが結果を残した中、一番喜ばしかった初メダルを獲得された方がいました。その方は、長年大会に参加し続けてきたのですが、今回初めて立ち幅跳びに出場しました。一回目の試技では、砂場に足を取られてバランスを崩し、尻もちをついてしまった為、ラインを越えずに惜しくも赤旗。緊張の二回目、審判の方にもアドバイスを頂きながら無事に白旗を上げる事に成功! 新生園時代から約三〇年間の思いを経て、見事念願のメダルを獲得する事が出来たのです。銀色に輝くそのメダ



念願のメダル獲得！おめでとう。

ルを首に下げて戻って来た彼に声を掛けた瞬間、今まで見た事のない喜び溢れる最高の笑顔を見せてくれました。帰りの車内では「また来年も頑張ろう！」と誓い、神愛園に戻ってからは職員や園生皆で喜びを分かち合いました。神愛園初の『全員メダリスト』の快挙となった今回この喜びがいつまでも長く続く様に支援出来ればと思っております。

(神愛園指導課 丸 純子)

## 総務部 医務課

# それぞれの肥満解消



メタボリックシンドローム

(内臓脂肪症候群)とは内臓脂肪の蓄積により、高血圧、高血糖、高脂血症症状が二つ以上重なった状態をいいます。今年度から義務化された特定健康診査には、今までの健診項目に腹囲測定が加わりました。腹囲のサイズは男性／八五cm、女性／九〇cm以上が内臓脂肪型肥満となり腹囲とBMIで内臓脂肪蓄積のリスクが判定されます。体重増加から肥満(内臓脂肪)へと繋がってしまうこともあり、施設では肥満予防には力を入れてきました。施設の健診でも数年前から脂質異常の人が目立つようになりました。間食の取り方の工夫や体を動かすこと勧める一方、各施設で肥満対策に取り組んで来ましたが、新生園では日課として体育訓練があり、最

も運動量も多く、体重減量や運動機能にも大きな成長が見られます。栄光園では日中活動として座った作業が多く運動不足になる事は否めません。作業所に併設されたショップで喉を潤すひと時もまた楽しみの時です。体重を気にしながらも一休みで



晴天のもと、楽しくウォーキング！

す。年齢も中高年が多く、全員でウォーキングや簡単なダイエットなど個々に興味を持てるもの、運動情報の提供など工夫されており、肥満解消にも成果が見られ力が入ります。神愛園では高齢者や病弱者が多く散歩を中心とした体力づくりが設定されており、花々に触れたり、戸外ではいろいろな場面に遭遇する散歩は、園生の楽しい時間です。その他に毎朝のラジオ体操やストレッチ体操も実施されており、園生は一〇代から九〇代までの年齢差があり、各施設の特性にあつた体力づくりが設定されており、間食を控えること、運動の大切さは理解していても、なかなか実行することは難しいものです。生活習慣を改善することでメタボリックシンドロームを予防、改善できます。職員も園生の努力に後押しされているのが現状です。

(医務課係長 古川 あや子)

# 二年目の夏を迎えて思うこと



この四月で新しいホームになつて二年目を迎えました。昨年、ホームにとつて記念すべき素晴らしい一年でした。お客様様の人数が五百数十名一氣に増加、そして喜びの声も沢山頂きました。「新しく、とても清潔ですね。」「広くて、ゆったりとして、とてもくつろげます。」「ここに來るとほっとするわ。」

冬は「床暖房って暖かくて快適な病氣にかかり、悩んでいる方が沢山いると聞きます。一人でも多くの患者さんの苦痛が取り除けるように色々な技術を取得し、これからも頑張っていきたいと思ひます。



肩こりは楽になりましたか？

今はストレスが原因で色々な病氣にかかり、悩んでいる方が沢山いると聞きます。一人でも多くの患者さんの苦痛が取り除けるように色々な技術を取得し、これからも頑張っていきたいと思ひます。

この様な快適で素晴らしい場所、仲間と日々の生活や仕事に業務できることを心から感謝しています。

(マッサージ師 中島 和子)

## 平成二〇年春の叙勲 瑞宝双光章を受章、 田中園長おめでとうございます

平成二〇年四月二九日、内閣

府より春の叙勲受章者の発表があり、光の家新生園の田中ノゾミ園長が瑞宝双光章を受章されました。

これは五〇年以上もの長きに渡りキリスト教の信仰に基づき愛と奉仕の実践を光の家の園生達に惜しみなく注がれ、盲重複障害者支援に多大な功績を残されたことが認められたもので



瑞宝双光章 授賞式にて

先日、聖書集會にて田中園長

には内緒でお祝いの計画をしました。園生・職員から花束と記念品が贈られ、最後に園生代表から感謝の言葉を伝えました。「今まで私たちの為に力を注いでくれてありがとう、ごさいます。これからも私たちのことを見守って下さい。」



「これからも私たちを見守ってください」と園生から記念品を受取る田中園長

## 新任職員研修会

# 光の家の人材育成



近年、福祉・介護分野では人材を確保しにくい状況にあります。光の家では「人材育成委員会」が立ち上げられ選ばれる施設になるためサービスの質の向上を目指す。人材の育成・定着を目的とした取り組みが展開されています。



熱心に先輩職員のアドバイスを受けています。

その一環として光の家新生園では定期的に新任職員の研修会

が開かれ、今回、勤続四〜五年の職員が盲重複障害者支援の実践について講義を行うという新しい試みが組み入れられました。比較的砕けた雰囲気の中、内容も新任職員にとって吸収し易く各々のビジョンに繋がれたものではと期待します。一方、講義をする側も自分が行なってきた盲重複障害者の訓練や生活支援について掘り下げて考え他者に伝える為の準備は自身の姿勢を問い直す貴重な機会となりました。

また、より良いサービスには専門性も必要となります。六月に行われた当法人主催の視覚障害者ガイドヘルパー講習に数名の職員が参加し視覚障害者の疾病や基礎知識、移動介助技術等を学びサービスの向上に役立っています。



ガイドヘルパー講習に参加する新任職員達

福祉業界では逆風の時代といわれていますが、受け身に流されず先輩も後輩も共に歩む仲間としてコミュニケーションを深め仕事へのモチベーションや個々のスキルを高め合える職場が理想と思われれます。それに向けた努力は光の家で生活する利用者やその家族への支援にも繋がるのではないのでしょうか。

(新生園生活指導係)

大野 章子



## 視覚障害者ガイドヘルパー講習 受講案内 (東京都指定研修)

～視覚障害者との歩き方・援助の仕方を学びませんか～

〔日時〕平成20年11月15日(土)、16日(日)

〔場所〕東京光の家 地域交流センター 研修室他

〔費用〕15,000円～

〔定員〕15名 ※定員になり次第メ切

※研修終了後、東京都認定の視覚障害者移動支援従業者養成研修修了証明書を取得することができます。



地域社会の一員として

# 「日野わーく・わーく」への取り組み

平成一八年度から開始された「日野市授産事業地域連携システム事業」に栄光園も参加しています。日野市障害福祉課、社会福祉協議会、市内関係施設合計一二団体が加盟し、目的として、授産作業に関連する地域福祉のネットワーク化を目指しています。名称が「日野わーく・わーく」と名付けられました。



活気ある賑やかな共同販売会

月に一回の定例会議が設定され、具体的な取り組みが少しずつ試みられています。外部講師を招いての「利用者工賃アップ」の研修、地元企業にも参加していただいていた「障害者雇用」の現状と意見交換、また京王線、高幡不動駅ビルに新設された、市役所の七生支所における共同販売会の実施・軽作業の共同受注の試み、そして企業への営業活動が手探りの中で行われています。そうした活動の中で、光の家新生園で作られる「雑巾」が、一流企業への販売活動として採用され、実際に使用して頂いています。

活動を重ねる中で、利用者の障害内容の違いや、施設規模、考え方の違い等から、様々な課題も出てきます。焦らず、地道に小さな取り組みを重ね、い



ミシンで雑巾製作しています。

れは大きな成果に繋がっていただければ良いと考えています。この活動が広く社会に認知され活発化することは、地域社会の一員として大きな役割を担う事になります。障害者施設における作業は作業量、納期、営業活動等に大きな課題を抱えます。それら様々な課題を、幅広い「地域との連携」を構築し協働することで、少しずつでも解消出来るように栄光園の役割も果たしていきたいと思っております。

（栄光園授産課係長 中河原 達也）

## 寄付者名簿

平成二〇年四月一日  
〜平成二〇年三月三〇日

株式会社東光工業 村上義輝様

比嘉光子様 音楽CD 六枚

福田千代司様 たけのこ 九kg

田中邦夫様 みかん 一〇kg

高橋正一様 山うど 七kg

山崎陽子様 パナナ 一四kg

松田巧様 さつま芋 一〇kg

佐々木加枝子様 米 四〇kg

わかめ 〇、二五kg  
本だし 一、二kg  
黒ごま 一kg

中観堂表具店 大貫喜久夫様 絵、額縁 一式

小西悠増様 パナナ 四〇kg  
（一八〇本）

山内英嗣様 ほたる漬け 四、五kg

山田善二郎様 アスパラ 一kg

川井秀子様 木材 二〇kg

石川雅也様 郵便葉書 二〇〇枚

宮田容子様 米（あきたこまち） 三〇kg

共同募金会より 三三〇、〇〇〇

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

# 障害者自立支援法

光の家新生園 保護者 長井 憲子

改革・改革と鳴り物入りの法案が障害者・高齢者にとって、安心して生活できる制度でしょうか？ 現在の、障害者自立支援法は利用者が個々に希望するサービスを受けるには、お粗末な制度です。利用者の本当に望むサービスを受けるには、利用者自身が今後も、声を上げていく必要があると思います。光の家の園生の生活を厚労省の方々は理解しているのでしょうか？ 自立イコール在宅、地域で生活する事が利用者にとって一番良いと。施設での生活は困り込みないように考えているのではないのでしょうか？ 現実には、親の高



齢化、地域での受け入れ態勢の不備と問題は多々あります。私の娘は新生園に入所して一四年になりますが、入所前、入所後も家族と離し、娘を施設に入所させた事が、本人にとって、良い選択であったかと悩みました。しかし一四年という月日で娘が得た、社会性や社交性、何より他者に対する思いやりは、家庭だけでは決して得られなかったと確信しております。光の家の基本理念、運営の基本方針が日々の生活、訓練に基き、職員の皆様のお蔭と心より感謝しております。

我々、保護者も光の家の大きな家族の一員です。園生が日々安心して質の高いサービスを受け、生活出来ますように、出来る限りの協力は今後も続けたいと考えております。

# 人事院介護等実地体験研修

今年も人事院より介護等実地体験研修が六月二日（月）から六日（金）までの五日間の日程で行われました。今回は、防衛省、警察庁、財務省、厚生労働省、農林水産省、総務省から計六名の方が来園されました。新生園、栄光園、神愛園にて、体育訓練や作業訓練の参加、授産作業の体験、食事の配膳、外出行事の



ピカピカにお掃除体験中

ヘルパー、施設内の環境衛生等、実際の現場業務を中心に様々な研修をされました。研修後には意見交換が行われ、率直な感想や意見がたくさん聞かれ、実際の現場の理解を更に深めることができました。この経験を通して、少しでも現場に即した行政施策を実現して頂けることを切に願っています。



神愛園のレクリエーション大会にも参加しました。

# 人との出会い不思議な縁で結ばれて

ボランティア 向井 英行

昨年二月二〇日、七〇才も



宛名書きに勤んでいます。

られて来ました。

過ぎ現役引退、退職し五〇年弱の間、公私に亘り、格別のご厚誼を賜り、大変有意義かつ楽しく思い出深い企業生活を送らせていただきました。顧みますと、転勤にて「二度と関西に帰って来るんじゃないぞ」（企業を倒産させての意）と嬉しい励ましの言葉にて送り出され上京し、花のお江戸で日野市の住人になり三六年、又此度は「追いつけ」なる催しなどにて身に余る言葉等にて退職と、節目節目事に皆様にお世話になり助け

られて来ました。今迄とは一変し毎日が日曜日となり、疲弊していた体力気力も少しづつ戻り、今迄蓄積してきた経験等が上昇は望めませんが維持して行く事は出来ると思いい、何か少しでもお役に立てる事がと思っている時、田中園長先生よりお声をかけて頂き、最後の役目であると気付き、日頃お世話になっている光の家でボランティア活動をさせていただく事を決意し、今日に至っておるので御座居ます。企業人間としての役目は、細さやかながら無事務めて参りましたが、一般人としては全く仕事バカ、半人前で何時も女房に叱られている毎日ですが今後も前向きに、切磋琢磨努力して行く所存であります。宜敷しくお願い申し上げます。

## 行事コーナー

神愛園・栄光園・新生園の各施設では、年間を通して様々な行事を計画しています。

四月から七月にかけて各施設で旅行やハイキングなど様々な行事が行われました。利用者にとって、これらの施設行事はとても楽しみにしているもの一つで、日常生活の励みになっております。

五月 栄光園春のハイキング



立川の昭和記念公園にて

六月 東京都障害者スポーツ大会

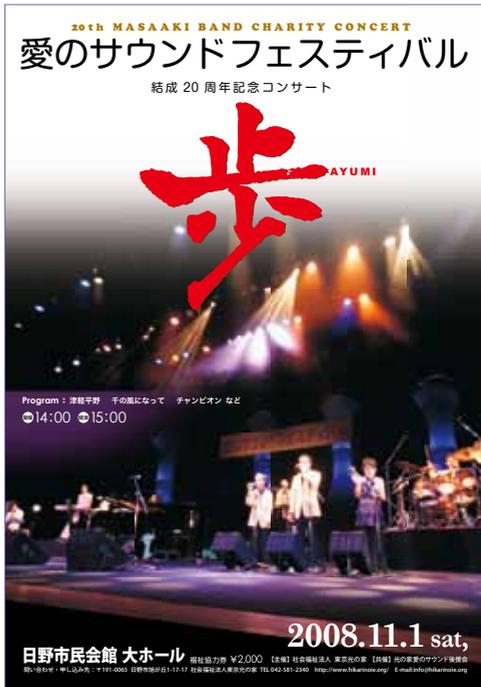


日頃の練習の成果を発揮しました。

七月 神愛園一泊旅行



芦ノ湖の遊覧船を楽しみました。



♪日時：平成二〇年二月一日（土）開場 一四時〇〇分  
開演 一五時〇〇分

♪会場：日野市民会館 大ホール（日野市神明一―二―）  
JR中央線 日野駅下車 徒歩一五分

♪福祉協力券：一枚 二、〇〇〇円

♪司会：高田 敏江

♪お問い合わせ先・主催：社会福祉法人 東京光の家  
〇四二（五八一）二三四〇

◎収益金の一部は、ささやかですがチャリティーとして、  
福祉団体等に寄付させていただきます。



第31回 東京光の家  
チャリティーバザー  
物品提供ご協力をお願いします！

- ◆東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様の温かいご協力をお待ちしております。
- ◆日時 一〇月二二日(月)  
体育の日一〇時より
- ◆会場 旭が丘東公園  
(東京光の家前)
- ◆提供して頂きたい品物  
日用品・おもちゃ・文具・雑貨品・食器・食品・衣料品(新品同様のもの)・古本・CD等
- ◆お断りしているもの  
家具・中古の電気製品・布団・雛人形・五月人形・ゴルフセット等
- ◆提供品受付期間  
九月末頃まで(ご連絡頂ければ回収にお伺いいたします。)
- ※尚、当日にお手伝いをしていただけるボランティアの方達も募集しています。

あとがき

いよいよ猛暑の夏到来。  
七月五日には温度計が急上昇三〇度に達し、家の中においても熱射病になった人もいたとか。  
洞爺湖サミット閉幕、人類の存亡にとって重大な影響を持つ地球温暖化対策はどうなったか？ 福田首相の思惑どおり事が進んだか？ いや、そんなに簡単ではなかったようだ。  
愛のサウンドフェスティバル（正統バンド、今年は結成二〇年目、日野市民会館にて開催される予定。  
会報一四八号をお送り致します。ご高覧下されば幸甚です。  
(N・T)

発行 千九一〇〇六五  
東京都日野市旭が丘一―七―七  
社会福祉法人 東京光の家  
電話 〇四二（五八一）二三四〇  
FAX 〇四二（五八一）九五六八